

科目名	くらしと法律	科目番号	般-1
担当教員	高倉良一(香川大学名誉教授)	科目区分	一般教養科目
対象学年、コース	1学年	開講時期	6~7月
単位数	1	必須・選択の別	選択
授業目標	1. 基本的人権を尊重することの意義を説明できるようになる。 2. 憲法と刑法と民法の基本的な原理を説明できるようになる。 3. 農業全般に関する法律を認識する。		
授業概要	最初に、基本的人権を尊重しなければならない理由を述べる。つぎに、憲法と刑法と民法に関する基礎的な知識と考え方を教授する。その上で、農業全般に関する法律の概要を説明する。		
授業計画	第1時限 基本的人権を尊重するとはどういうことか 第2時限 日本国憲法を一言で説明すると 第3時限 刑法の基本的な原理(1)犯罪理論 第4時限 刑法の基本的な原理(2)刑罰理論 第5時限 民法の基本的な原理(1)財産法 第6時限 民法の基本的な原理(2)家族法 第7時限 農業全般の法律制度の概要 第8時限 基本的人権の侵害を防ぐためには  <p style="text-align: right;">②1回に2時限分を実施する</p>		
テキスト、参考書	はじめて学ぶ法学の世界ー憲法・民法・刑法の基礎 第2版(昭和堂、関根孝道) 最新版図解知識ゼロからの現代農業入門(家の光協会、八木宏典) 新・シネマで法学(有斐閣ブックス、野田進・松井茂記):大学で貸与		
成績評価法	毎回の授業の感想レポートと授業終了後の課題レポートを総合して評価する。		
その他	授業では視聴覚教材を活用する。		

科目名	くらしと経済		科目番号	般-2
担当教員	張 暁紅(香川大学経済学部)	科目区分	一般教養科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	6~7月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	経済と企業経営に関する基礎的な知識を養うことを目標とする。			
授業概要	経済と企業、経営に関する基本的な内容を説明し、さらにそれに関する時事的な問題を解説する。			
授 業 計 画	第1時限	くらしと経済—企業の役割		
	第2時限	株式会社の仕組み		
	第3時限	継続的に財・サービスを提供する機関としての企業①長寿企業		
	第4時限	継続的に財・サービスを提供する機関としての企業②企業の製品戦略		
	第5時限	企業と社会		
	第6時限	日本と欧米諸国のトップマネジメント構造とコーポレートガバナンス		
	第7時限	日本のコーポレートガバナンスの変容		
	第8時限	企業の成長とイノベーション		
	③1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	レジュメを配布、教科書は使用しない 参考書は随時指示する			
成績評価法	授業内レポート(80点)と出席(20点)により評価する			
その他	私語は厳禁 授業レポートが評価の大部分を占めるので、きちんと講義を聴いた上で、定められた形式で毎回必ずレポートを提出すること			

科目名	キャリアデザイン		科目番号	般-3
担当教員	小出優季	科目区分	一般教養科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	5、6、7、8月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	自立、自己実現に向けて、コミュニケーションやキャリア形成について考える。			
授業概要	自分のありたい姿や価値観について考える時間を持ちながら、主体的に自分の未来を切り拓く力を養う			
授業計画	第1時限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアとは何か、キャリアデザインとは何か</li> <li>主体的に自分の人生を歩んでいくことについて考えるきっかけを持つ(講義)</li> <li>・社会の変化や働く環境の変化を知り、自分の将来を自立的に考える必要があることを理解する</li> </ul>		
	第2時限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフラインチャートを書くことで自分のキャリアを振り返る(個人ワーク/グループワーク)</li> </ul>		
	第3時限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人との関わり合いから創られるキャリア</li> <li>これからの人生を歩んでいく中で、欠かすことのできない他者との関わり・コミュニケーションについて、必要なスキルを学ぶ(個人ワーク)</li> </ul>		
	第4時限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大専校2年間をどう送るかを考える(グループワーク)</li> </ul>		
	第5時限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解</li> <li>自己を理解する先に、他者への理解があることを知る。(講義)</li> <li>自分が捉えている自分の姿を言語化するとともに、自分の知らない自分に出会う(個人ワーク・グループ討議)</li> </ul>		
	第6時限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の価値観を確認するとともに他者との違いをしり、他者を理解する姿勢を持つ(グループワーク)</li> </ul>		
	第7時限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアデザイン</li> <li>自己理解に基づいて“なりたい自分”のキャリアデザインを行う</li> <li>自分にとって目指す生き方のモデル、習得すべきものは何かを知る</li> <li>ジョブカードに落とし込む</li> </ul>		
	第8時限	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己表現力を高め就職活動等に備える(グループワーク、発表)</li> </ul>		
		⑨1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書				
成績評価法	出席状況、授業態度、レポート・報告等から総合的に評価する			
その他				

科目名	農村と文化		科目番号	般-4
担当教員	谷原博信(香川民俗学会名誉会長)	科目区分	一般教養科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	11~12月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	日本の農耕民族儀礼を通して農家の人々はどのような考えで農業に携わってきたかを考え、これからの農村文化のあり方を学ぶ。			
授業概要	稲作農耕儀礼を中心に調べながら、日本人の農耕文化を紐解いてゆく。			
授業計画	第1時限	農の民俗をとりあげ、瀬戸内の正月行事から予祝行事を学ぶ		
	第2時限	豊作祈願の諸相(1) 鋤初めなどの年占いの行事を学びながら、農民の心意をさぐる		
	第3時限	豊作祈願の諸相(2) 苗代祭、ミナクチマツリ、卯月八日、八十八夜行事を学ぶ		
	第4時限	豊作祈願の諸相(3) 田植え、田植え終了の祭(サノボリ)を通して田の神信仰について学ぶ		
	第5時限	虫送り、雨乞い祈願などを通してタマフリ、タマシズメの論理を学ぶ		
	第6時限	端午の節句、七夕行事を通して収穫祭へとつなげる		
	第7時限	亥の子、田の神去来伝承(地神さん)などを学びながら、収穫祭の意味を学ぶ		
	第8時限	聖書から学ぶ農村文化ー「種蒔くたとえ」をマタイによる福音書から学ぶ		
	⑨1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	さぬきの農村歳時記(ふるさと研究会): 大学で貸与 年中行事事典(三省堂)、稲の祭(岩崎美術社)、年中行事事典(第一法規)、新約聖書(日本聖書協会)など			
成績評価法	課題、テスト、出席状況など授業中の態度を通じて総合的に判定する			
その他				

科目名	情報処理※		科目番号	般-5
担当教員	太田富英	科目区分	一般教養科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	4～8月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	パソコンへのアレルギーをなくす。 Word、Excel、ラベル屋さんの基本的な使い方がわかる。			
授業概要	スマホ全盛の時代、かえって皆さんのパソコン知識が低下しています。しかし、オフィスの仕事はスマホではできません。皆さんからパソコンに対する苦手意識を取り除き、前向きに向き合えるようにお手伝いします。			
授 業 計 画	第1時限	自己紹介		
	第2時限	おすすめYouTube動画ベスト3 (Word) 制作		
	第3時限			
	第4時限	おすすめYouTube動画ベスト3 (Word) 発表		
	第5時限	ロゴ(MyFonts)、名刺(ラベル屋さん) 制作		
	第6時限			
	第7時限	Excel基本練習		
	第8時限	私の貯金計画(Excel) 制作		
	第9時限	〇〇度診断シート(Excel) 制作		
	第10時限	ルーレットゲーム計算機(Excel) 制作		
	第11時限			
	第12時限	ふれあい市チラシ(Word) 制作		
	第13時限			
	第14時限			
	第15時限	最終テスト(筆記)		
	第16時限	最終テスト(ふれあい市チラシ 仕上げ)		
テキスト、参考書	板書のみ			
成績評価法	基本的に最終テストで評価			
その他				

科目名	異文化コミュニケーション		科目番号	般-6
担当教員	(公財)香川県国際交流協会ほか	科目区分	一般教養科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	12月～2月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	世界の諸言語等に触れ、その特徴、歴史、文化的背景などを学ぶことで異文化への理解を深める。また、他国文化と日本文化の特徴と地域の多様性を理解し、国際化の進展に対応したグローバルな視点を持つ。			
授業概要	世界の様々な地域について、その地域で用いられている多様な言語や習慣等に触れるとともに、背景となっている社会や文化について学ぶ。			
授 業 計 画	第1時限	参加型の活動等を通してコミュニケーションや異文化コミュニケーションについて考える。		
	第2時限	講師:(公財)香川県国際交流協会山下理香氏、香川藍氏		
	第3時限	トークや参加型の活動などを通して北米の文化に親しむ。また、外国人住民から見た日本の文化や習慣などについて知り、自国について振り返る。		
	第4時限	講師:元香川県国際交流員ジェレミー・ラニグ氏、香川県国際交流員(CIR)		
	第5時限	トークや参加型の活動などを通して、韓国、イギリスの文化に親しむ。また、外国人住民から見た日本の文化や習慣などについて知り、自国について振り返る。		
	第6時限	講師:香川県国際交流員(CIR)		
	第7時限	体験談や参加型の活動を通して、異なる視点から日本の文化・習慣を振り返るとともに、自分たちの地域の魅力について改めて考える。		
	第8時限	講師:翻訳家平野キャサリン氏、(公財)香川県国際交流協会山下理香氏、香川藍氏		
	第9時限	県内の外国人住民の現状や「やさしい日本語」を学ぶ。学んだやさしい日本語を使って外国人住民と交流する。		
	第10時限	講師:(公財)香川県国際交流協会 山下理香氏、香川藍氏		
	第11時限	青年海外協力隊で体験したヨルダンの人々の生活とアラビア語について学びヨルダンの社会・文化を理解する。		
	第12時限	講師:青年海外協力隊経験者 岩崎美和子氏、松下倫尚氏		
	第13時限	トークや参加型の活動などを通して、中国語やドイツ語のあいさつや簡単な会話を学ぶ。また、外国人住民から見た日本の文化や習慣などについて知り、自国について振り返る。		
	第14時限	講師:董琴氏(中国)、マリウス・アルベリス氏(ドイツ)		
	第15時限	インドネシアの言語や食文化、音楽等を通じてインドネシアの社会・文化を理解する。		
	第16時限	講師:大石麻未氏[ういどさり Widasari 代表]		
	②1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書				
成績評価法	受講後のレポートや出席状況による			
その他				